

行田 歴史系譜 317

資料がかたる
行田の歴史 17

忍藩の出版事業と『東都事略』と『南宋書』

江戸幕府は天保13年(1842)6月に十萬石以上の藩に対して、大部の漢籍の翻刻を命じました。しかも出版にかかる費用や労力は藩の負担とされたことから、その目的は、大藩の財力消耗を狙ったとの説もあります。とはいえ、命令された藩は事業に着手せざるを得ず、出版する漢籍の選定に取り掛かりました。



東都事略 (行田市郷土博物館蔵)

忍藩が出版することになったのは、中国の北宋(960~1127)の歴史を記した『東都事略』と南宋(1127~1279)の歴史を記した『南宋書』です。出版作業の中心となったのは、藩

儒の芳川波山です。ところが波山は房総半島沿岸警備のため富津陣屋に派遣されることになり、作業に着手したのは弘化2年(1845)の冬ごろです。富津から江戸の藩邸に移り、原文を解読し返り点と送り仮名を施し、弘化3年11月に完成させ、藩主松平忠国に献上しました。

この仕事に精力を注ぎ込んだ波山は体調を崩し、翌4年12月に逝去しました。嘉永2年(1849)5月には江戸や大坂、京都の本屋から発売され、本の扉には「進脩館蔵板」と記され、巻末にも「進脩館蔵梓」の方印が押され、藩校進脩館による刊行であることが明記されています。

この二書を出版することにした理由を松平忠国が『東都事略』の巻頭に記しています。その中には、歴史を学ぶことにより、国の興廃や政治の良否、人物の善悪、人々の悲喜などを考え、勧善懲悪を行えば、人は自らの欲望に勝ち、過ちを反省するといったことが述べられています。藩主として政治をつかさどる中で、歴史を学ぶ意味と重要さを松平忠国自身も理解していたのでしょう。

(郷土博物館 鈴木紀三雄)

はじめまして



令和元年10月生まれのお子さんを募集します

- 8月3日月~31日月に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
- 応募者多数の場合は、9月2日水午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



令和元年8月生まれのおともだち



太田 紫平 ちゃん (長野)
令和元年8月2日生まれ
父・健人さん 母・永里子さん
「心も体も、
のびのび、すくすく♡」



島田 柚葉 ちゃん (大塚)
令和元年8月7日生まれ
父・裕介さん 母・恵里さん
「柚ちゃん、
元気に育ってね!」



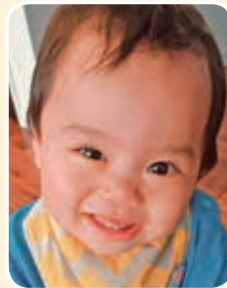
市橋 紀枝 ちゃん (野)
令和元年8月27日生まれ
父・正一さん 母・菜美さん
「パパとママとねえねの
大切な宝物!」



横田 林果 ちゃん (真名板)
令和元年8月22日生まれ
父・弘行さん 母・瑞季さん
「すくすく元気に育ってね♡」



間々田 華怜 ちゃん (荒木)
令和元年8月6日生まれ
父・吉雄さん 母・未咲さん
「沢山の幸せに
包まれますように♡」



原口 瑛介 ちゃん (長野)
令和元年8月13日生まれ
父・裕介さん 母・あゆみさん
「我が家の宝物!
元気に育ってね!」

今月の表紙

6月中旬から古代蓮の里で蓮が美しく咲き誇りました。今年は、新型コロナウイルス感染症対策として、園内では散策路を一方通行にし、人と人との間に十分な距離を保つよう放送で呼び掛けられました。例年どおり7月上旬に最盛期を迎え、42種類約12万株の花蓮が蓮池一面を埋め尽くし、ピンク色の大輪が訪れた人の目を楽しませていました。



目指せ! 友だち登録10,000人!
(現在1,670人)

行田市公式LINEの
友だち登録はこちらから!

● 市政・イベント・防災などに関する行政情報を発信します。

ホームページ <https://www.city.gyoda.lg.jp>



環境にやさしい
植物油インキ

市報ぎょうだは
再生紙を
使用しています